

6 本時の学習（12時間予定 本時はその5）

(1) ねらい

グループで決めた献立について観点にそって検証しながら見直すことができる。

(2) 人権教育の視点

班で協力しながら自分たちが考えた献立について見直すことができる。

(3) 準備 学習ノート（画用紙・模造紙）

(4) 展開（きめ細かな指導）

学習内容	時間	支援及び指導上の留意点	評価規準(方法)
1 本時の学習内容を確認する。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で決めた献立についてもりつけ図、食品の分類、作る手順、おすすめポイントを考えることを知らせる。</li> <li>・記録は学習ノートにするようにする。</li> <li>・グループで話し合い献立を見直し、改善する必要がある場合は変更してよいこととする。</li> </ul>	(十分満足な状況 おおむね満足な状況)
2 自分たちが決めた献立について見直す。	35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間巡視を行い、各班の進行状況を把握するとともに必要に応じ助言する。</li> <li>・グループ内での一人一人の学習の様子や話し合いの様子を観察し評価に生かす。</li> <li>・献立と材料を料理名と食品に分け、学習ノートに記入させる。</li> <li>・食品を体内のはたらきで「おもに体をつくる」「おもに熱や力のもとになる」「おもに体の調子を整える」に分けるようにさせる。</li> <li>・体内のはたらきが分からない食品がある場合には、グループで教え合い復習するようにさせるが、教科書や献立表を参考にしてなるべく自分たちで調べるように指示する。</li> <li>・作る手順は、正確な分量にとらわれず、おおまかな作業の流れを分かりやすく説明できるようにする。今まで自分が調理した経験や、手伝いをしたときに家の人から教えてもらったことを生かせるように助言する。</li> <li>・おすすめポイントは、なぜ自分たちの班はその献立にしたのかや、食品の分類や作る手順で工夫している点を補足説明するようにさせる。</li> <li>・食品の分類を見直しバランスが整っていることや、お弁当作りをすることを考え、自分一人でも短時間に調理可能な献立か班で再検討させる。</li> <li>・学習が進んでいる班には次の課題として、学習ノートに記入できたことを画用紙や模造紙に記入させる。</li> <li>・学習ノートを提出させる。</li> </ul>	<p>積極的に意見交換しながら、観点ごとに献立を見直ししている。</p> <p>(観察、学習ノート) 友達の意見を聞きグループで献立を見直している。</p> <p>(観察、学習ノート)</p>
3 次時の学習予定を知らせる。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は、学習ノートに書いたことを画用紙や模造紙にまとめ、献立発表会の準備をすることを伝える。</li> </ul>	